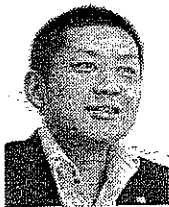


第11回 制度改定、如何に適応するか

制度改定は外部要因の変化です。制度も含めて、外部要因は刻々と変化します。この変化は止めることも変えることも出来ません。そのため、この変化を止めるのではなく、如何にこの変化を適応するかを考えた方が必要です。また、その際、自らの力で変えることの出来る内、9割強のダウン。要支援については20%強のダウンとなっており、必要に応じて利用者の健康維持が考えられています。nagomi

制度改定後もデイの条件勝ち残る

イーライフグループ
小川義行代表



1971年埼玉県生まれ。「野球で親に家を立てる」を目標に、埼玉栄高等学校、拓殖大学政経学部経済学部に進む。大学3年時高の故障に伴い一度野球を断念。大学卒業後、大手損害保険会社に入社。半年後「肩を治してもう一度野球をしないか」とスカウトされ、打撃投手として日本ハムファイターズに入団。退団後、大手住宅リフォーム会社に入社し、全国No.1の営業成績を残す。1999年独立。イーライフ・グループの前身であるテックオガワ社を設立。代表取締役就任、現在に至る。

稼働率の向上を重視

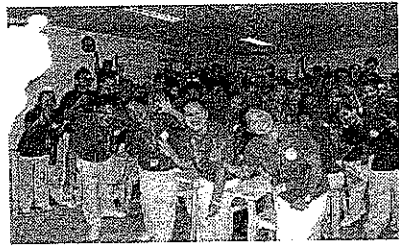
昔は「デイサービス」を指していたが、現在は「介護サービス」の異なる他、nagomiとして法人のデイサービスと連携を促すこともこの変化に適応してはならないと考えられています。今回の改定の対策として、nagomiでは稼働率の向上を重視しています。これは、制度改定に際して、常に行っていた内容ではなくなりますが、今回の改定を受け、現在最も注力している施策です。売上は「客数×客単価」で決まります。これはこの事業も同じです。今回、報酬が下がることにより、何もしなければ客単価は下がることとなります。そのため、売上を確保するために、まずは客数を増やす。稼働率を向上させるというところに重きを置いていきます。オペレーションを見直すことで、営業を行うことでの出来る時間を確保し、新たな利用者の確保を目指しています。また、ケアマネさんへの

介護人材不足解消セミナー

4月11日 東京で開催

2010年より日本の介護現場への日系フィリピン人介護スタッフの職業紹介事業を行っている鴻池運輸グループのキャリア・サービス(大阪市)は、同社主催にて「介護人材不足解消セミナー」を4月11日に開催する。本紙社長の網谷敏敏が介護保険改正のポイントについて講演するほか、まごころライフの穂満光男社長が慢性的な介護人材不足を解消するための海外人材活用について話す。

キャリア・サービスは、ル・ケア・サービス、社して来日。介護現場で就2010年から介護関連 会福祉法人池田さつき 務している。事業者に向けて、日本へ 会、湖山医療福祉グループ この取り組み内容を、の定住権を持つ日系フィリピン人介護スタッフの定住権を確保し、実際の現場視察を通じてフィリピン人介護スタッフの60人以上が採用し、3 解してもらったため開始有料職業紹介を行って20名を超す日系フィリピン人介護スタッフとして「フィリピン現



▲日系フィリピン人介護スタッフ

地視察セミナー」で、これまで介護人材不足に悩む介護事業者など100名以上が同セミナーに参加している。「明るく積極的な国民性から『フィリピン・ホスピタリティ』と呼ば

れる海外の介護・看護市場。高い評価を得ています。そこで、定住権のある日系フィリピン人介護スタッフのモチベーションの高さ、好感の持てる人柄などに触れても、紙社長の網谷敏敏が「2015年介護保険改正のポイントと最新動向」について講演。第2部は同社の岩橋宏和取締役が「日系フィリピン人介護スタッフの活用事例紹介」を話し、第3部は「介護人材不足を解消する」について講演する。

無料、同社の東京支店内セミナールーム(東京都港区虎ノ門)にて開催する。

「明くる積極的な国民性から『フィリピン・ホスピタリティ』と呼ば

「明るく積極的な国民性から『フィリピン・ホスピタリティ』と呼ば

無料、同社の東京支店内セミナールーム(東京都港区虎ノ門)にて開催する。